

今、高校生が考えるデジタルシティズンシップとは ーデジタルウェルビーイングな社会を目指してー

開催地：茨城

グループ： 3班

2023.08.23

これからのデジタルシティズンシップ

これから学ぶ世代へのSNS利用教育の大まかな図



小学校高学年

早期的な情報モラル教育を行う



中学校

頻度を増やし、実例を交えて紹介する
また、AIを活用した疑似SNSを使用し、実感的に学べるようにする。



高等学校

既存の情報科目と並行して、稀にSNSに関する教育を行う

これから学ぶ世代(中学生まで)へのSNS利用教育

【小学校高学年】

早期から基本的な情報モラルを身に付ける。

・教育内容

道徳の授業内で、身近な例やいじめと関連した内容を取り上げる。

これから学ぶ世代(中学生まで)へのSNS利用教育

【中学生】

小学生より具体的な情報モラルを身に付ける

・教育内容

具体的な過去の炎上例(バカッターなど)を知る。

AIを活用して作られた疑似SNSで実際に発信をする実技を行ってより実感しやすくする。

少人数(クラス内、学校内)で、独自のSNSを用いて情報の発信の経験を積む。

これから学ぶ世代(中学生まで)へのSNS利用教育

【高校生】

SNSの利用教育は、課外を中心として行う。

・教育内容

より高度にシミュレーションできるものを使用し、発信の練習を行う。少人数(クラス内、学校内)で、独自のSNSを自主的に運用させる。

まとめ(政府に提言したいこと)

- ・早期から情報モラルに関する段階的な教育が必要である。→現段階においては、技術的な内容であり、実生活に即した教育が欠けている。
- ・学校教育でAIを活用する例として、将来、炎上しないために、炎上シミュレーター(仮名)などに取り入れる。
- ・学校単位で管理できるSNSが必要

ご清聴ありがとうございました。